

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 日時  
令和3年3月22日（月）
- 2 確認結果の概要  
新事務本館2階 緊急時対策室
- 3 確認項目  
1号機原子炉格納容器内水位低下に伴う注水量変更操作

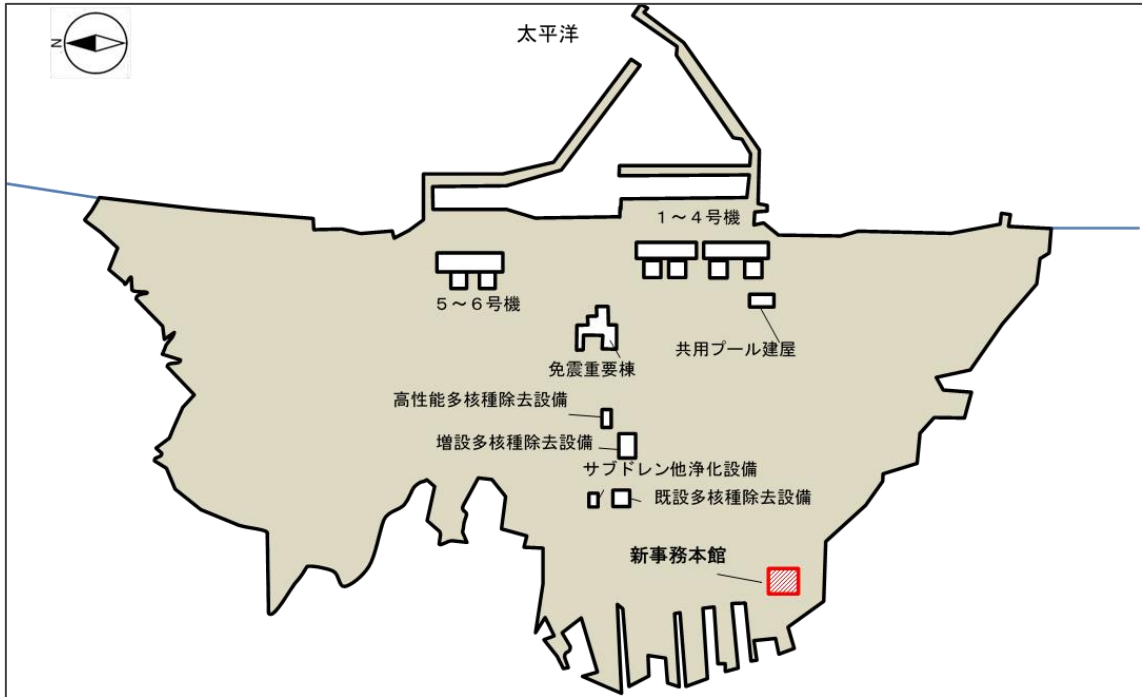
### 4 確認結果の概要

令和3年2月18日、東京電力によるプラント関連パラメータ確認時に、1号機原子炉格納容器（以下、「PCV」という。）内水位計の指示値に低下が確認され、その後、その他のパラメータを確認・評価した結果、2月19日に1号機及び3号機においてPCV水位が低下傾向にあると判断された。

PCV水位低下の要因としては、2月13日23時08分の地震により、これまで確認されている損傷部の状況が変化したため漏えい量が増加した影響が大きいと想定されており、PCV水位があらかじめ決められた水位を下回った時点で注水量変更操作が実施されることになっていた。

本日（3月22日）20時24分に1号機PCV水位があらかじめ決められていた水位を下回り、原子炉注水量を増加させる操作が行われたことから、原子炉注水量変更前後のPCV内温度、放射能濃度等のプラント関連パラメータを新事務本館2階緊急時対策室で確認した。（図1）

- ・3月22日22時42分に1号機原子炉注水量が $3.0\text{m}^3/\text{h}$ から $4.0\text{m}^3/\text{h}$ に変更されたが、注水量変更前後でプラント関連パラメータに変動は確認されなかった。
- ・1号機原子炉注水量の変更に伴い、原子炉格納容器内の水位が上昇し、3月23日3時57分、あらかじめ決められた水位を上回ったことが確認された。この時点においてもプラント関連パラメータに変動は確認されなかった。
- ・東京電力によると、今後、PCV内の水位上昇の状況やプラント関連パラメータの状況を慎重に監視しつつ、十分な水位上昇が確認できた場合には注水量の低減操作を実施するとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図